

平成29年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立山口小学校
作成日	平成30年3月1日

1

生き生きと主体的に学び、心豊かでたくましい子どもを育てる。

- 自ら学び自ら考える子
- やさしく思いやりのある子
- たくましく元気な子

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	ランチルーム(みらい館)は地域にとっても貴重な交流の場で、最も親しみのあるところです。 さらに開かれた学校として活用されることが期待されます。	学年を超えた仲良し上級生の面倒見の良さ、指導力、高齢者への配慮などほほえましい光景が見られる。	基本を大切に着実に努力するという目標設定は正しいと思います。

取組の状況に対する意見	貴重な学習時間をどの程度費やしているかという内容にするのは難しいが、やってみる価値はある。	幅広い企画であると思います。	着実に効果を上げています。子供は学ぶことの大切さを会得しつつあります。個別の対応は最も労力を要しますが、果敢に取り組んでいることに敬意を表します。
検証結果に対する意見 取組の適切さの	一定の効果が見られ定着しつつある。学習の対象が学校内だけでなく周りの地域にもあることに気づき、地域の人々と触れ合うマナーも子供たちは学びました。	子供たちは縦割り活動、高齢者への思いやり活動にはなじんでいる。京奈和道路工事や六箇井用水路地下工事の現場見学は、最先端技術を目前にして、将来自分もこんな仕事をしてみたいなど動機づけになるとありがたい。子供たちの目線は鋭く、輝いていました。	基礎学力が定着し、達成調査において成果が得られたことは、児童にとっても努力が報いられるという自信になることでしょう。
改善方法に向けての 次年度に対する意見	子供たちが自分で考え企画し、行動してその結果が地域の人々の共感を呼べたら素晴らしいことだと思います。	愛育会や地域の人々の幅広い理解と協力をどう得るかが課題です。	自ら学習し、考え、企画活動する意欲こそが生涯教育で、その基礎が着実に築かれつつあります。

3 其他のご意見

子供、保護者のニーズの多様化は、今後の最大の課題となることでしょう。学校側はこの難問に労力を費やすことになるでしょう。多様化は避けられませんが、子供たちにとって何が大切かを考え、相互に理解し合うにはどうしたらよいか。保護者は何を、何を学校に求め、地域の人にどのような協力を求めるのかを、話し合い理解し合う場がよいと思います。前進するかもしれません。

